

群馬工業高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)		授業科目	企業論	
科目基礎情報							
科目番号	25		科目区分		専門 / 必修		
授業形態	授業		単位の種別と単位数		学修単位: 1		
開設学科	生産システム工学専攻		対象学年		専1		
開設期	前期		週時間数		1		
教科書/教材	特に定めず、講師が用意するスライド等を用いる。						
担当教員	宮越 俊一,平社 信人						
到達目標							
企業活動とはどういったことかについて、その基本的な考え方を学習し、今後のキャリア形成の一助とすることを授業の狙いとしている。企業経営や研究開発における管理・運営の経験を有する学内外の講師から、様々な観点に基づく授業を受け、企業人としてのものの考え方や取り組み姿勢、思考態度を知ることを通じ、将来の研究・開発技術者としての視点を育むことを目標としている。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1	企業における社会的貢献と責任を具体的に説明できる。		企業における社会的貢献と責任を理解できる。		企業における社会的貢献と責任を理解できない。		
評価項目2	企業活動が国内外で他社(他者)とどのような関係性を持つかを理解しそれに備えることができる。		企業活動が国内外で他社(他者)とどのような関係性を持つかを理解できる。		企業活動が国内外で他社(他者)とどのような関係性を持つかを理解できない。		
評価項目3	コミュニケーション能力や主体性等の「技術者が備えるべき能力」の必要性を理解し、その備えることができる。		コミュニケーション能力や主体性等の「技術者が備えるべき能力」の必要性を理解できる。		コミュニケーション能力や主体性等の「技術者が備えるべき能力」の必要性を理解できない。		
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	企業の社会的役割と企業活動の概要、ものづくりと製品化に向けた企業努力、人材の育成、エンジニアのあるべき姿、学生時代に何を学ぶべきか等について、企業経営・運営経験者からなる学内外の講師がそれぞれの観点から講義する。						
授業の進め方・方法	企業経営者など4名の非常勤講師、企業経験のある2名の本校教員によるオムニバス形式の授業として実施する。パワーポイントによる授業を軸とするが、時によりグループワークなど学生自らが参加、課題に取り組むことにより、より理解と定着を図る。						
注意点	企業関係者による授業が多いので、資料が配布されないことが多いが、講師の話にしっかりと耳を傾け、グループワークにも積極的に参加して主体的に取り組んでほしい。						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	ガイダンス および 企業における研究開発職について(1)(宮越)				
		2週	企業経営概論(木村)				
		3週	企業におけるビジネスモデルについて 企業における各種指標の重要性とその活用(鈴木)				
		4週	企業における研究開発から製品化まで(平社)				
		5週	企業、特に開発や製造の現場において重要なこと(高岡) (課題解決の実習を含む)				
		6週	経営指針と人材育成によって「人を大切にする経営」を実践する(山岸)				
		7週	企業における研究開発について(2)(宮越)(グループワークを含む)				
		8週	まとめ(宮越)				
	2ndQ	9週					
		10週					
		11週					
		12週					
		13週					
		14週					
		15週					
		16週					
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	0	0	0	0
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0